

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔臨床病理診断科〕

指標名

消化管生検の病理診断に要する日数

目標・ゴール

消化管生検の病理診断に要する日数の短縮化

目標・ゴール達成による効果

- ①迅速な病理診断報告による消化管疾患診療の効率化
- ②消化管疾患の入院日数の短縮化

目標・ゴールに対する成果の状況



2025 年度は6月、12 月ともに日数は 5 日程度で横ばいだった。

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

☐S : 大幅に目標を上回った

☐A⁺: 目標を多少上回って達成

☒A : 目標を達成

☐B⁺: 目標を少し下回った

☐B : 目標を下回った

☐C : 目標を大幅に下回った

☐ー : 外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

2024 年6月に報告までの日数が以前よりも要してしまったが、2025 年は5日程度で横ばいだった。

概ね検体到着から報告まで遅滞なく報告ができているが、中には報告に1週間をこえる時間を要しているものもあり、改善を目指す。